

E S D（持続発展教育）全体計画

学校教育目標
自主性を備え、自他を大切にすることをもち、心身ともにたくましい生徒の育成

教育関係法規
<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領など

時代や社会の要請
<ul style="list-style-type: none"> ・国際化、情報化などの社会の変化への対応 ・いじめや不登校などの問題行動の解消 ・生涯学習の推進

本校の重点課題
<ol style="list-style-type: none"> (1) 確かな学力の向上 (2) 心の教育の充実 (3) 健やかな体の育成 (4) 「自立する力」の育成

本校ESD教育の目標
ESDの観点を取り入れた環境・エネルギー教育、防災教育等により「人や社会・自然とかわり、行動する力」を涵養するとともに、「地域をベースにしながら、日本、世界に視野を広げ、持続可能な社会について学び、行動する」態度を育成する。

学校や地域社会などの実態
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態、意識 ・保護者の願い ・教師の願い ・地域社会の要請

各学年の指導の重点		
1 年	2 年	3 年
様々な教育活動を通して、持続可能な社会づくりに必要な考え方を明らかにしていく。また、屋久島において取り組んでいる持続可能な社会づくりについて、自然体験学習（白谷雲水峡散策や世界遺産センター、環境文化村センター見学）を通して、多面的に学んでいく。	教育活動を通して、持続可能な社会づくりにはどのような視点のつながりが必要か明らかにしていく。また、屋久島において取り組んでいる持続可能な社会づくりについて、屋久島の環境保護に関する学習（永田いなか浜清掃、クリーンサポートセンター見学）を通して、多面的に学んでいく。	持続可能な社会づくりの担い手としての自らの生き方について、教育活動を通して明らかにしていく。また、社会の担い手としての学習（職場体験学習、キャリアデザイン）を通して、自分たちに何ができるか考え、行動する態度を養う。

ESDの指導方針
自分が生きている世界遺産の島『屋久島』について、様々な学び方や調べ方を活用しながら学ぶ中で、自分の将来や『屋久島』のよりよい未来の在り方を考え、社会全体としての「よりよい生き方」について考えることができる生徒の育成。

各教科	総合的な学習の時間	道徳	キャリア教育
国語 ・深く考える力を育成する。 ・自分の考えや思いを表現する力、コミュニケーション能力を育成する。 ・日本文化を理解し大切に、継承・発展させる力・態度を育成する。 社会 ・持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探求させ、自分の考えをまとめさせる。 理科 ・自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し、持続可能な社会をつくるために何ができるかを考えさせる。 技術・家庭 ・再生可能エネルギーの利用技術やエネルギーに関する技術が、生活や社会を豊かにしている場面、逆に生活や社会を脅かす場面を通して、持続可能な社会の実現について具体的に考えたり話し合ったり伝えたりさせる。 保健体育 ・心身の機能の発達の仕方及び精神機能の発達や自己形成、欲求やストレスへの対処などの心の健康等、心身ともに健全な発達を促し個人生活を中心として合理的に理解する資質や能力を育成する。	第一学年 ・世界遺産センター・環境文化村センター研修…屋久島の文化に触れ、伝統・文化を大切にしようとする心情を育む。 第二学年 ・修学旅行…長崎を通じて、日本の文化・歴史に触れ、伝統・文化を大切にしようとする心情を育む。 ・地域・環境学習…ゴミ分別の大切さや世界遺産の素晴らしさを再認識し、学びを深める。 第三学年 ・進路選択…よりよい生活や学習、進路生き方等を目指して、自ら課題を見出ししていくことの大切さを理解させ、主体的に課題に対応していく能力を育てる。 ・職場体験学習…体験活動を、社会における様々な役割を理解するとともに、社会と自己のかかわりから、多面的に自分の特徴や適性を理解し、目標を目指して自分を高めようとする態度を育てる。	・思いやりと人間愛の精神をもって生命の尊厳を理解し、自他の生命を尊重する生徒を育成する。	・地域から日本・世界へと視野を広げ、社会貢献、環境保全など、職場・職業等を通じて様々な人々と課題の解決のために協働する「持続可能な社会」の構成員となる資質・能力を高める。
		環境・エネルギー教育 ・グリーンタイムなどの環境にかかわる活動を通して課題意識をもたせ、持続可能な社会・環境づくりのために責任ある行動を取れる生徒を育成する。	国際理解教育 ・各教科等や日本の伝統や文化について深く理解し尊重する態度を基盤とする。 ・異なる価値観を認め、異文化・多文化の国際社会の中で世界の平和を尊重し、持続可能な社会をつくる。
		人権教育 ・職場体験や地域貢献活動等を通して、社会に大きく視野を広げ、持続可能な社会の担い手としての生き方を考える生徒を育成する。	